

企業ニーズに応える教育訓練と きめ細かな就職支援体制



千葉職業能力開発促進センター
(ポリテクセンター千葉)

設置・運営●独立行政法人雇用・能力開発機構

所在地●千葉市稲毛区六方町274番地

設置コース●アビリティコース(施設内離職者訓練):CAD設計・加工技術科、溶接技術科、電気設備科、生産支援技術科、生産設備エンジニア科、建築CAD・リフォーム技術科、住環境コーディネーター科、ビル設備サービス科、設備工事サービス科

●能力開発セミナー(在職者向け訓練):機械系、電気・電子系、居住系

訓練期間●アビリティコース:6カ月(橋渡し訓練付きは7カ月)

千葉職業能力開発促進センター(ポリテクセンター千葉)では、離職者を主対象とした訓練(アビリティコース)と在職者向け訓練(能力開発セミナー)の二本柱で職業訓練を行っている。千葉市稲毛区に位置する同センターを訪ねた。

○若年者から中高年齢者まで

田中不二夫次長に同センターの教育訓練の理念について伺った。

「当センターは、独立行政法人雇用・能力開発機構の設置、運営のもと、求職者や在職者の方々に職業能力の開発及び向上、事業主の方々には従業員に対する在職者訓練をはじめとする総合的な支援業務を行っております」

再就職を目指す求職者(雇用保険受給者等)対象のアビリティコースでは、中高年齢者の受講生も多いビル設備サービス科をはじめ、幅広く社会のニーズに応えられる職業訓練科目を設置して、受講生全員が就職できるように努力している。入所希望者については施設見学会を開いて本人に合った科目選択をした上で応募してもらう方針を採っている。

また、「当機構では、能力開発支援アドバイザーを各ハローワークに配置して、求職者の方に訓練科目ごとの特徴を含めて丁寧にキャリア・コンサルティングを行い、スムーズに訓練を受講していただくよう努めています」(田

中次長)

○橋渡し訓練

アビリティコースの本訓練は6カ月コースが基本だが、その6カ月に1カ月間をプラスした「橋渡し訓練付き」の7カ月コースがスタートしている。

「橋渡し訓練とは、主に若年者を対象に最初の1カ月の間に、本訓練での訓練効果を高めるため、訓練が必要となる基礎的な知識・技能の習得や対人関係、自己理解、就業意識など、就職に必要なヒューマン・スキルの向上を図るものです。従来からこれに類することは当センターでも積極的に行っていましたので、すんなりと取り組んでいます。求職者にはテクニカル・スキルだけではなく、積極的にヒューマン・スキルの向上も目指してもらうということです」(訓練第一課・菅和雄課長)

○きめ細かな就職支援体制

同センターでは、きめ細かな就職支援体制も敷いている。

「受講生に就職を果たしていただくために、入所前からの入所説明会から就職への意識付けをしています」(訓練課居住系・児玉洋助教)。続けて居住系の中嶋隆講師は、「就職支援は信頼関係だと思います。当センターが教育訓練して送り出した受講生が企業に就職して、一人前の社会人として活躍

することで信頼関係が構築できるのではないでしょうか」と話す。

就職支援に関しては、担当教員がメインで担当しているが、施設内に就職相談室が設けられており、能力開発支援アドバイザー等が3名配置され、訓練生からの相談に応じている。

○ポリテクセンターの使命

田中次長はポリテクセンターの使命について次のように話す。

「私どもの訓練は企業が求める技能・技術をベースにしています。訓練コースの内容について毎年業界や企業に対してニーズ調査を行い、動向を見極めながらそのニーズに対応しているかを確認しています。社会で必要とされる人材を送り出すことが絶えず求められていますので、それに応えるのが私どもの使命だと考えています」

○ポリテクセンターと地域との連携

菅課長は「小学生等の夏休みを利用した『親子ものづくり教室』では約400名の参加があり、保護者の方から『こんな素晴らしい能力開発・教育訓練施設が身近にあったんですね』と大変喜ばれます。ポリテクセンターは機構が全国規模で展開し、均一の質を保った職業能力を身につけられる『身近な』能力開発施設ですから、地域との連携にも力を入れていきたいですね」と結ばれた。